

## 【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターとがくししょうまの家								
指定管理者名	社会福祉法人長野りんどう会					法人番号	5100005001714		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1412	地域活動支援センターとがくししょうまの家							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業室、喫茶室、厨房、静養室								
施設設置目的	障害者に対し、通所の方法により創作的活動、生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図ることを目的とする。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"><li>利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。</li><li>地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供するもの等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。</li></ul>								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"><li>作業訓練、生活訓練、社会体験訓練、相談</li></ul>								

## 【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"><li>協定、計画の一部が予定どおり実施されない</li><li>管理運営の一部において、市の指導が必要</li></ul>
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"><li>協定、計画が全て実施されない</li><li>管理運営の全てにおいて、市の指導が必要</li><li>市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない</li></ul>

## 【評価項目】

## 1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野りんどう会			指定回数	2 回	
指定期間	平成25年4月1日	～	平成30年3月31日	5年	管理運営開始日	平成20年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	H25	H26	H27	H28	対前年比	評価
		利用者数	人/日	6	7	6	5	81%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項) 利用定員 10人 登録人数 (H29.3.31) 10人							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由					
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者に対する通所の登録に関する業務</li> <li>利用者の創作的活動又は生産活動の機会の提供</li> <li>利用者に対する社会との交流促進等の便宜供与に関する業務</li> <li>施設及び設備の維持管理に関する業務</li> </ul>							
	自主事業	交流活動（お花見、ふれあい祭、七夕、バーベキュー大会、マレットゴルフ、運動会、一泊旅行、料理教室、年忘れ会、クリスマス会、新年会など）							
サービス維持・向上の取組み（広報等）		<ul style="list-style-type: none"> <li>しょうまの花通信の発行（年12回）</li> <li>利用者の送迎実施（火曜日～金曜日）</li> </ul>							

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	
	(2) 調査、会議等の内容	利用者が話しやすいように工夫しながら利用者からの申し入れ時や作業の移動時等に自然な形で聞き取りを行った。		
	(3) 調査、会議等の結果	施設や職員に対する要望、不満等はなかった。		
利用者からの要望・苦情等	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>しょうまの家に来ることが張り合いです。</li> <li>規則正しい生活ができるようになった。</li> <li>毎日すごす所が有るのがうれしい。</li> <li>指導員さん達がやさしいのがうれしい。</li> <li>自分の病気とうまく付き合うヒントをもらったとき。</li> <li>働く事が出来てうれしいです。</li> </ul>		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	特になし		
	<<対応措置>>			

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成28年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成28年度決算		平成27年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	8,380,000   1,370,000 101,000	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	8,380,000   1,352,675 0	歳入	使用料 雑（納付金） <small>行政財産目的外使用料</small> その他	使用料 雑（納付金） <small>行政財産目的外使用料</small> その他	
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	6,821,000 780,000 30,000 50,000 150,000 1,630,000 390,000  0	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他 <small>就労支援事業費用</small> 減価償却費	7,068,213 671,318 0 57,240 146,770 1,648,921 343,118  0	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 <small>使用料・賃借料</small> 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	指定管理料 委託料 需用費 役務費 <small>使用料・賃借料</small> 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	8,380,000     953,640   1,300,320	
計	9,851,000	計	9,732,675	計	0	計	0		
自主事業	収入 支出 自主事業損益	0  0	収入 支出 自主事業損益	122,066  122,066					
損益	0		-80,839	差引	-9,333,640		-9,680,320		
人件費比率【人件費（賃金等）／平成28年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								71.1%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか  配置実績 (うち市内雇用職員数) 所長：1名(1)、支援員：3名(3)、専任職員(運転手)：1名(1)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	3
<p>協定内容・指定管理者提案</p> <p>追加された内容、未実施の内容及びその理由</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>豊岡荘（特別養護老人ホーム）の清掃業務を行う。</li> <li>長野市衛生センターから委託を受け、豊岡ニヶ所のトイレ清掃を行う。</li> </ul>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	<p>合計得点</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">60</p>	
施設の有効活用	3	6		
利用者評価	3	12		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	12		
地域連携	3	6		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に1度実施されている様々な交流行事は、施設の利用者から高い評価を得ている。</li> <li>施設利用者に対する支援の方法について、地区の保健センター保健師と年間6回の職員会の機会を設けて情報交換を行うことで、より細やかな対応ができています。</li> <li>必要な保守点検の実施による施設維持管理及び防災訓練の実施による危機管理対策は講じられており、適切な事業運営が行われている。</li> </ul>			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)	
	施設利用者の高齢化及び施設立地が中山間地であることによる地域的要因等が想定されるが、利用者数が年々減少している。		施設の立地が中山間地であるため、施設利用者の通所のために車両による送迎を行っているが、地域的には障害に対する否定的な認識も存在しており、新たな施設利用者には結びついていない。	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<p>平成28年度はトイレ等屋内のバリアフリー化工事を実施している。</p> <p>利用者の高齢化や他事業所への通所利用等により、施設利用者の減少が実態として確認されるが、少数であっても継続的な施設利用者にとっては、当施設は大切な居場所になっているものと考えられる。</p> <p>今後も、利用者の居場所としての施設とその機能を維持することが課題と考えられる。</p>			

## (1) 今年度の取組みに対する評価

## ① サービス向上に向けての取組み

## ◎ 利用者が生きがいを持てるような日中活動支援

- ・月1回の行事実施

- お花見会、料理教室（2回）、りんどうふれあい祭り、七夕まつり、他施設見学会、マレットゴルフ・バーベキュー大会、紅葉狩り（地区内散策）、りんどう年忘れ会、クリスマス会、新年会

- ・年2回の宿泊旅行実施

- 新潟県上越方面、諏訪方面

- ・利用者の状態に応じた仕事場、創作活動等の場の提供

- 特養豊岡荘の清掃（毎日）・市営公衆トイレの清掃（週2回）・喫茶店業務（出前・店内清掃）

- 施設敷地内草取り、布ぞうり作り、古紙を使用したごみ袋作り、まきストーブ焚き付け紙作り

- ・就労支援（豊岡荘、ひゅーまにあ長野）

## ◎ 利用者送迎の実施（火～金）

## ◎ 戸隠保健センター保健師との職員会（年6回）

## ◎ しょうま通信の発行（毎月）

## ◎ 避難・通報訓練の実施（年2回）

## ② 業務の効率化に対する取組み

## ③ その他

## (2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・前年度中に医療機関への入院者や他施設への入所者が出て利用者数が減少し、さらに今年度下半期から他事業所の利用を開始した者もあったが、新たな利用希望者はなく、今後についても新規利用者確保に関して明るい見通しは見出せていない。

- ・契約者のうち利用頻度が高い者は施設設置前後から長期間にわたっての利用であるが、高齢化が進んでいること等から施設利用能力の継続性の点で不安が大きい。

- ・山間地であるため自力による通所範囲が限定され、また、交通事情が悪い（バス運行時間）ため利用者個々の状態に合わせた短時間利用ができにくい現状を打開する方策がない。

- ・利用者の戸隠地区住民大会への参加、民生児童委員との情報交換をはじめ、地域社会との交流促進についてはほとんど実施できていない。

- ・就労支援事業のうち「受託事業」である清掃業務は、参加利用者が少ない場合には職員の負担が極めて大きく、今後継続して受注できなくなる恐れがある。

- ・地元採用職員4人（常勤1・非常勤3）のうち常勤嘱託職員1人、送迎担当非常勤職員1人が平成29年度限りで退職する意向である。

- ・地域の高齢化・人口減等に伴い、食堂利用者が減少している。

- ・利用者及び保護者の高齢化や一人暮らしなど状況の変化により、しょうまの家利用時間帯以外の支援が必要な利用者が増加している。

- ・施設がバリアフリーになっていないため、下肢に障害のある利用希望があった場合、適切に対応できない。  
⇒H29年5月にトイレ改修工事実施済み。

## (3) 次年度以降の取組み

## 【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る